

平成29年度識字合同学習会（第16回ふれあい広場）

識字合同学習会（ふれあい広場）は、県内各地域で学習している識字学級生、夜間学級生等及び県民の交流会を開催することで、識字問題が社会全体で取り組むべき重要な人権課題であることの理解と認識を促進し、県内の識字活動のさらなる発展と充実を図ることを目的に実施しているものです。今年度は、12月16日（土）、川西文化会館コスモスホールにおいて開催し、126名の方々に参加いただきました。

識字問題とは？

「識字」とは、人間の文化の中で創り出された文字や数字など記号を使える力のことをいい、その反対の言葉として「非識字」が用いられます。「非識字」とは、日常生活レベルでの文字や数字の基本的な読み、書きなどが十分にできないことをいいます。「識字」は社会生活を営むうえでの基礎となるものであり、識字問題は、差別や貧困、戦争などの理由により教育を受ける権利が奪われてきたという基本的人権にかかわる重要な問題です。

県内では、現在も多くの識字学級で文字を取り戻し獲得する喜びが続いています。

また、3つの中学校夜間学級と3つの自主夜間中学があり、識字学級と同様に多くの人たちが学んでいます。

さらに、奈良県では約1万1500人（平成29年6月末現在）の外国人が生活していますが、この中にも、識字教育を必要とする人たちがいます。

識字問題を解決するためには、非識字者が学習できる機会を保障するとともに、県民一人一人がこの問題についての正しい理解と認識を深め、差別のない、真に人権を尊重する社会を築くことが大切です。



本年度の内容

○ 識字学級等の取組紹介

映像を交えながら2学級から取組紹介がありました。各学級での具体的な取組を知ることで、今後の識字活動がより充実するためにはどうすればよいか考える機会をもつことができました。

天理市立北中学校夜間学級からは、創設の歴史や年齢・国籍・民族・生い立ちも違う様々な方が学んでおられること、1日の授業の前半は一人ひとりに合わせた教材を学び、後半は全員で生活に関係の深い内容や自分と社会との関わりを考える内容を学んでいることなどについて紹介がありました。



安堵町識字学級若葉会からは、7名の学級生より、パソコン・ドリル等を使った文字学習や季節を感じる言葉の習字、手芸・工作等の学習に取り組んでいることや、9月に行われた識字交流研修会の会場に掲げた看板づくりにみんなで取り組んだこと、和歌山方面や明日香方面での社会見学の様子などについて紹介がありました。

○ 識字学級生等による作文発表

2人の学級生から、自身の経験や思いを綴った作文を発表していただきました。作文発表を通して、識字活動は単に文字の読み書きを学習するだけでなく、学ぶ人の心や生活を豊かにする力をもつ活動であることを確かめ合うことができました。

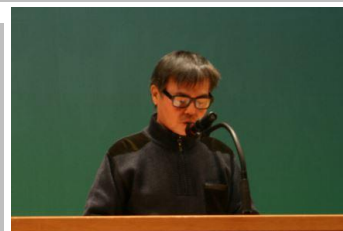


『私と識字学級』

識字学級で学ぶことを通して、気軽に人と話をできるようになり人のやさしさを知ることができたこと、世界が明るく感じられるようになったこと、先生やかなまの支えがあったから今まで学び続けられたことなどについて話していただきました。

『学ぶことには終わりが無い』

今までの人生を振り返るとともに、夜間学級で学ぶことを通して、やればできるという自信を獲得したこと、あきらめずにがんばることの大切さを実感できたこと、思いを共有できるなかまができたことなどについて話していただきました。



○ 作品展示

学級生が製作した様々な作品をエントランスホール・ロビーに展示しました各学級の学習の中で取り組まれた作品の一つ一つは、個性に満ちあふれ、見る人の心を打つものばかりでした。真剣な眼差しで作品を鑑賞されている方や、作品について意見交換をされている姿も数多く見られました。識字学級や中学校夜間学級での豊かな取組や学級生の努力、学習の成果を伝え合う場となりました



展示作品の一例

学級・学校の紹介（取組・歴史等） 押し絵 絵手紙 切り絵 文字の額 水墨画 色紙
けん玉 習字作品 鉛筆立て 小物入れ ストール 刺しゅう ストラップ 風鈴
ちぎり絵 あんどん 万華鏡 カレンダー 和紙染めうちわ 収納座椅子
ブリザードフラワー 貼り絵 学習用テキスト 視写学習のファイル 等

○ 講演（お笑い理学療法士 日向亭 葵さん）

落語とリハビリを融合させた介護予防体操「エアリハ」の考案者である日向亭葵さんからご講演いただきました。講演中、参加者のみなさんからは、絶えず大きな笑い声が響き、最高の笑顔が輝いていました。



参加者の感想より

参加者からいただいた感想の一部を紹介します。

参加された団体やみなさんの“学ぶ”という熱意に感動しました。誰もが、人生を心豊かに送れるためのヒントをいただきました。

今日は出席できて幸福でした。最後の日向亭葵さんの身体によい話は、90才の私にも大変よかったです。

学級の作品展示はどなたの作品もすばらしいものでした。ありがとうございました。

初めて参加させていただいて、とても感動的な場面が多かったです。あらためて識字活動の重要性について理解を深めることができましたような気がしました。

いろんな取組、本当にご苦労様です。舞台に上がるだけでも大変ですのに、自分のことを話すのは、大変だったと思います。これからも、ともにがんばりましょう。

初めて参加しました。こういう学習会があることを知ることができてよかったです。ありがとうございました。

毎年参加させていただいています。高校生の司会、舞台発表、講演、すべてよかったです。このような取組がこれからも永く続けられることを願っております。

より多くのみなさんに、「識字問題」「識字活動」について知っていただき、さらに広い視野で「人権」について興味・関心をもっていただければ幸いです。